

情報に触れましょう。関わりましょう。調査に参加しましょう。

# あなたの2020国勢調査 医療提供者向けガイド

## 医療提供者にとって国勢調査はなぜ重要なのでしょうか？

クリニック、健康保険会社、地方自治体、そして大学は、政策や地域社会のニーズ評価などに関して、国勢調査のデータを頼りに、情報に基づいた決定を下しています。

2018年の国勢調査人口推計によると、65歳未満のLos Angeles住民の17.2%が医療保険に加入していませんでした。国勢調査のデータから得られる情報は、Medicaid (California州ではMedi-Cal:メディ・キャル)、Medicare Part B (メディケア・パートB)、WIC(低所得の婦人児童向け食費補助プログラム)、CHIP(児童医療保険プログラム)、医療センター医療センターなどのきわめて重要なプログラムの資金確保に役立てられます。2010年国勢調査データ Counting for Dollars 2020(カウティング・フォー／ダラズ2020)によると、California州ではMedicaid (メディケイド/メディカル)だけで550億ドル以上が割り当てられました。

## 病院や老人ホームの患者はどのように調査されますか？

すべての人が、2020年4月1日(国勢調査の日)またはそれ以前に最も長く住んでいる、または寝

泊まりしている場所でカウントされます。病院および老人ホームはグループ施設とみなされます。2020年初頭に、米国国勢調査局の担当者が施設の管理者に働きかけ、施設が直接国勢調査局にデータを提出することを計画している、あるいは指定されたスタッフが患者から紙の国勢調査の調査票を集めるかどうかを確認します。

## 調査票は英語を話さない患者も利用できますか？

はい。オンラインでは、調査票は以下の12言語で利用可能になります。スペイン語、中国語(簡体字)、ベトナム語、韓国語、ロシア語、アラビア語、タガログ語、ポーランド語、フランス語、ハイチ・クレオール語、ポルトガル語、日本語。さらに、国勢調査ホットラインではこれらの言語での支援および聴覚障害者のための聴覚障害者用通信機器を提供します。

紙の調査票は、英語とスペイン語のみの提供となります。

さらに、言語用語集、ビデオおよび印刷されたガイドを提供します。これらは、アメリカ手話、点字、および大きな活字を含む59の英語以外の言語で利用可能となります。

Los Angeles 市は、障害のある方々が市のプログラム、サービス、および施設に平等にアクセスできるよう、相応な便宜を提供します。要請は、市障害者部門まで、  
eメール DOD.Contact@lacity.org または (213) 202-5668に、5営業日前までにご連絡ください。

Eric  
Garcetti  
@MayorOfLA



census.lacity.org  
#2020Census

